

テーマ『ソニー VS シャープ』

・携帯電話市場におけるソニーとシャープ

国内の携帯電話機シェア

2002年の携帯端末販売台数は3,939万台。前年に比べると約3.0%の減少となった。

メーカー別のシェアでは、NECが19.8%で首位の座を堅持。2位以降は、パナソニック モバイルコミュニケーションズ(16.4%)、シャープ(13.4%) [約527万台]、東芝(7.8%)、三菱電機(7.7%)と続いている。

1位のNECや2位のパナソニックは、順位こそ維持したが、カメラ搭載端末の発売が他社に遅れたため、前年と比べシェアを減少させており、成長率もNECが-32.8%、パナソニックが-11.3%と大幅に低下させている。一方、他社に先駆けてカメラ付携帯電話を市場に投入したシャープは、シェア・成長率とも大幅に増加させている。

カメラ付携帯端末のメーカー別シェアについても調査しており、こちらでは、シャープが36.2%と、2位の三洋電機12.9%を大きく引き離して1位となっている。3位以下は、NEC(11.3%)、東芝(10.6%)、三菱電機(9.8%)と続いている。

2002年の日本におけるカメラ付携帯端末の対エンドユーザー販売台数

ベンダー	販売台数(千台)	シェア(%)
シャープ	5,195.8	36.2
三洋電機(注)	1,851.1	12.9
NEC	1,625.1	11.3
東芝	1,514.1	10.6
三菱電機	1,410.9	9.8
その他	2,736.5	19.2
合計	14,333.5	100.0

(2003/4/21 米ガートナーグループ報道資料より)

補足 (世界の携帯電話機シェア)

総出荷数は、対前年同期比9%減の9,436万4,000台で、上位5社のうち3社までが前年比減となっている。端末を供給する企業別シェアでは、引き続き王者、ノキアが首位を守るとともにシェアを伸ばし、対前年同期比で3ポイント増となる33.4%を獲得した。ただ、西欧市場不振のため、出荷台数自体は減らしている。2位は同1.6ポイント減のモトローラの15.7%、3位は同2.1ポイント減のエリクソンの8.0%で、ここまでの順位に変動はないが、4位に7.5%でSamsungが入り、同3.5ポイント増となり、わずかの差ながらシーメンス(7.2%)を追い抜いた。

松下・NECの組み合わせは、国内シェアの合計では5割を超え、日本市場では突出しているが、世界市場でいえば、まだまだだ。2000年の結果でいえば、携帯電話は全世界で4億1,273万1,000台だったが、首位ノキアは1億2,636万9,000台でシェア30.6%、松下は2,151万1,000台で5.2%、順位は5位だった。シェアは1/6、台数では桁がひとつ違う。逆にいえば、国際的にはこの状況であるため、同社はNECと手を組んだともいえる。

(2001/11/20 米ガートナーグループ報道資料より)